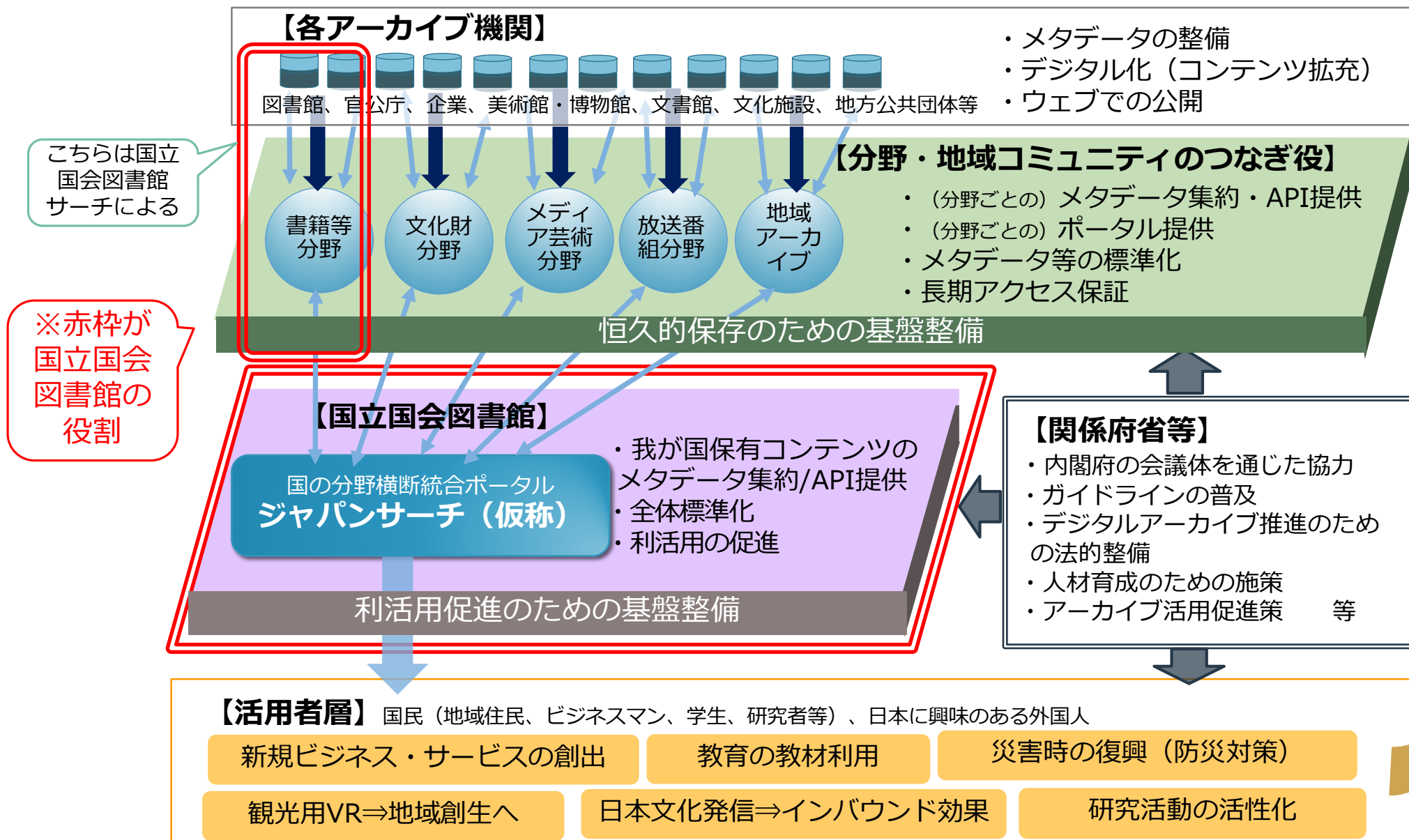


ジャパンサーチ（仮称）構築における課題 ～報告書・ガイドラインの実現に向けた課題整理～

国立国会図書館 電子情報部

ジャパンサーチ（仮称）構築に向けて：役割の整理

メタデータの流れ
デジタルコンテンツの流れ



新しい知の創造
経済的価値の創出

書籍等分野の「つなぎ役」としての課題・要望

課題

- 図書館界における資料デジタル化の推進
- メタデータのオープン化（CC0）、デジタルコンテンツの二次利用条件表示の促進
- デジタルアーカイブ構築の意識啓発
- コンテンツ利活用促進のための取組強化

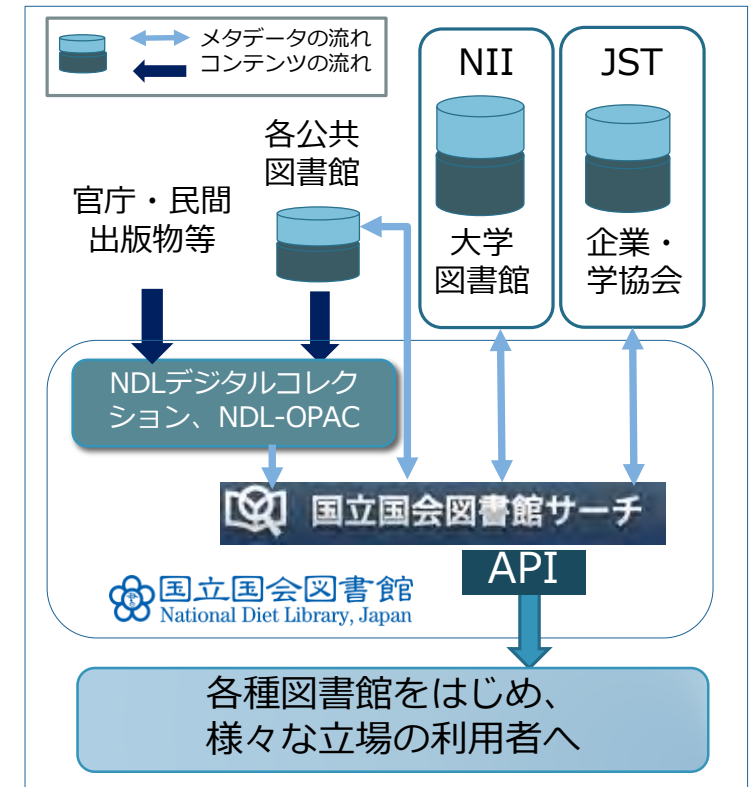
要望

上記課題は、書籍等分野に限らず、分野共通の課題。つなぎ役の1機関で対応できる課題ではない。国全体で取り組んでいく必要がある

デジタルアーカイブ推進が評価される枠組みを！

【現状】

- 国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）は、100データベース、1.2億件のメタデータの検索が可能
- 各図書館が提供するデジタルアーカイブとの連携強化を図っている



分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ（仮称）」構築に向けた課題・要望

課 題

- 各分野・地域コミュニティの「つなぎ役」の明確化
- 「ジャパンサーチ（仮称）」構築に向けた協力体制の強化
- 多様な領域のメタデータ・サムネイルの流通促進
- オープンなデジタルコンテンツの拡充

【現状】

- 機能要件を固めるため、ジャパンサーチのプロトタイプを構築中
- プロトタイプとの連携データベース募集中！

この2つがジャパンサーチ成功のカギ

要 望

- 「つなぎ役」不在の分野に対して、体制作りを
- 分野を横断した、連携活動促進のための体制整備
- （美術館以外でも）サムネイル画像のネット公開

